

建設経済分科会 会議記録

- 1 期 日 令和3年5月14日（金）
午前10時16分 開会
午前10時44分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 福田 嗣久
副委員長 清水 寛
委員 足田 仁司、石津 一美、
岡本 昭治、木谷 敏勝、
椿野 仁司、村岡 峰男
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主幹兼総務係長 小林 昌弘
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

建設経済分科会長 福田 嗣久

建設経済分科会 次第

日時：2021 年 5 月 14 日(金) 本会議休憩中
場所：第 3 委員会室

1 開 会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査について

ア 分科会審査

- (ア) 報告第 4 号 専決処分したものの承認を求めることについて
専決第 9 号 令和 2 年度豊岡市一般会計補正予算（第 28 号）
専決第 10 号 令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第 3 号）
専決第 11 号 令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第 4 号）
専決第 12 号 令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第 5 号）

(2) 意見・要望のまとめについて

ア 分科会意見・要望のまとめ

4 その他

5 閉 会

建設経済委員会名簿(5/14)

=5/14建設経済委員会出席不要

【委 員】

職 名	氏 名
委 員 長	福 田 嗣 久
副委員長	清 水 寛
委 員	足 田 仁 司
委 員	石 津 一 美
委 員	岡 本 昭 治
委 員	木 谷 敏 勝
委 員	椿 野 仁 司
委 員	村 岡 峰 男

8名

【当 局】

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
環境経済部長	坂本 成彦				
環境経済部参事	谷口 雄彦				
コウノトリ共生部長	川端 啓介	農林水産課長	柳沢 和男	農林水産課参事	井垣 敬司
		コウノトリ共生課長	宮下 泰尚		
		地籍調査課長	依田 隆司	地籍調査課参事	上阪 善晴
都市整備部長	澤田 秀夫	建設課長	富森 靖彦	建設課参事	北村 省二
		都市整備課長	石田 敦史		
		建築住宅課長	山本 正明	建築住宅課参事	谷垣 秀人
城崎振興局長	植田 教夫	地域振興課参事	橋本 郁夫	城崎温泉課長	山田 和彦
竹野振興局長	瀧下 貴也	地域振興課長	平尾 喜彦		
日高振興局長	小谷 士郎	地域振興課参事	吉田 政明		
出石振興局長	村上 忠夫	地域振興課参事	川崎 隆		
但東振興局長	羽尻 泰広	地域振興課参事	小川 一昭		
上下水道部長	河本 行正	水道課長	谷垣 康広	水道課参事	和田 哲也
		下水道課長	榎本 啓一	下水道課参事	堀田 政司
農業委員会事務局		農業委員会事務局長	丸谷 祐二		

13名

【議会事務局】

職 名	氏 名
主幹兼総務係長	小林 昌弘

1名

計

22名

午前10時16分開会

○分科会長（福田 嗣久） それでは、皆さん、大変ご苦労さまです。

ただいまから建設経済分科会を開会をさせていただきます。

今日のニュースで一つだけ。50年ぶりに、この4月の倒産件数が一番少ないというニュースが出ておりまして、これは倒産が増えるなというおそれはあるんですけども、そういう記事が出ておりました。それには、政府系といたしますか、国の策のコロナ対策の緊急融資等が影響してるのではないかなということで、表面的には喜んでおりますけれども、裏返しがあるのではないかとという心配もはらんでいるということで、そのような記事をちらっと見ておりましたけども、そんな状況でございました。とにかくコロナが一刻も早く鎮静化することを目指して頑張っていただきたいというふうに思います。

それでは、第3で、協議事項、分担案件の審査に入らせていただきます。

本日の分科会は、本会議、また、予算決算委員会を休憩して開催しておりますので、委員の皆様、当局の皆様、質疑、答弁に当たりましては、くれぐれも要点を押さえ、簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をお願いいたします。時間はおおむね50分ということでございます。

それでは、まず、報告第4号、専決処分したものの承認を求めることについて、専決第9号、令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第28号）を議題といたします。

当局の説明は、所管事項に係る部分について、課ごとに歳出、歳入、地方債補正の順に説明をお願いします。

なお、本専決においては、事業費確定等に伴う財源更正のみの部署については説明を省略しますので、ご了承願います。

財源更正以外の補正予算のある部署、あるいは、特に説明を要する事項のある部署はございますか。ない。どこもない。

どこもございませんので、質疑もこれで打ち切ります。

討論、もちろんございません。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり承認すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） ご異議なしと認めます。

よって、報告第4号、専決第9号は、承認すべきものと決定をいたしました。

続きまして、報告第4号、専決処分したものの承認を求めることについて、専決第10号、令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

当局の説明は、所管事項に係る部分について、歳出、歳入の順に説明をお願いいたします。

それでは、当局の説明をお願いします。

環境経済部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） それでは、議案書の89ページをご覧くださいと思います。よろしいでしょうか。

真ん中の段、商工費にございます説明欄をご覧ください。商工振興事業費、補助金としてステップアップ支援事業費の7,000万円の追加補正ということです。これにつきましては、通常のステップアップ支援補助金のメニューに大規模投資を支援する特別枠を設けて、「ステップアッププラス」として市内事業者を支援しようとする新しい施策です。ほかの補助施策との公募開始時期を合わせたいということがありまして、混乱を避けるために専決をさせていただいて、早めに準備をさせていただいたというふうなことです。内容としては、2分の1補助の最大1,000万円の補助額というメニューにいたしております。

87ページへお戻りいただきまして、歳入です。財源といたしましては、2つ目に書いてございます地方創生臨時交付金の中で7,000万円全てを臨時交付金を充てさせていただいております。

説明は以上です。

○分科会長（福田 嗣久） 説明は終わりました。

質疑はございませんか。よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） それでは、質疑を打ち切ります。

討論はございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） お諮りいたします。本案は、原案どおり承認すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） ご異議なしと認めます。よって、報告第4号、専決第10号は、承認すべきものと決定をいたしました。

続きまして、報告第4号、専決処分したものの承認を求めることについて、専決第11号、令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

当局の説明は、所管事項に係る部分について、歳出、歳入の順に説明をお願いをいたします。

それでは、当局の説明を求めます。

環境経済部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） それでは、資料の103ページをご覧ください。商工費、説明欄です。商工振興事業費、まず1つ目は、補助金として住宅等改修支援事業費です。これは、いわゆるR e f o r m豊岡のことでございまして、受付期間半ばにして、申請が予算枠を大きく上回る状況になり、この時点では最終申請見込みを2億円と見ておりましたものですから、その増額の専決をお願いいたしましたものです。

続きまして、交付金です。緊急雇用維持助成金ですけれども、これは国の雇用調整助成金の助成率及び日額の限度額が5月から引き下げられるという方針を受けて、市内企業に雇用維持を呼びかけるべく、専決予算を確保させていただいて、アナウンスをしたものです。

戻っていただきまして、101ページをご覧ください。財源ですけれども、R e f o r m豊岡に係る1億4,000万円につきましては、地方創生臨時

交付金5,500万円と、財政調整基金からの繰入れ8,500万円を充てております。緊急雇用維持助成金の4,000万円につきましては、被災者生活再建支援基金の繰入れという形で財源を充てております。

説明は以上です。

○分科会長（福田 嗣久） 説明は終わりました。

それでは、質疑を受けますけれども、質疑はございませんか。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） もう少しちょっとお聞きをしたいんですが、まず一つは、緊急雇用の分ね。今説明で、5月から国の補助金が引き下げられると。その引き下げられた分を市が独自にというように聞こえたんですが、もともとは何ぼで、国が何ぼに下げるので、市が何ぼという、ちょっとその金額も教えてください。

○分科会長（福田 嗣久） 坂本経済部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 雇用調整助成金ですけれども、まず、解雇等を行わずに雇用を維持することが大前提の条件になっておりますが、4月末までは国が10分の10、限度額1日1万5,000円という、こういう助成をすると、休業させた方に対する休業手当について、これだけは国が見ますよというふうに言われていたということです。この特例が4月末をもって終わりました、5月からは、国10分の9、限度額も少し下げて1万3,500円、日額というふうに変わるという発表がこの時点ではございました。ところが、この後、実は緊急事態宣言ということになりまして、緊急事態宣言を受けたエリアで、それに応じたような事業者に対しましては、4月までの特例措置と同じ額を補償していこうという、こういうことになりました。なので、10分の10、1万5,000円ということが適用されると。主には飲食店ということになりますけれども、そういうことがあります。それと、業況特例というのもしつけられまして、要は30%減収しているような事業者の方については、これまでどおり10分の10、1万5,000円でいこうという、

こういうことも付加をされています。ここからやっぱり漏れる企業さんもかなりあると思います。先ほど言いました業種でいうと飲食店以外の製造業の方だとか、それから、業況として30パー減収に満たないような方というのは、最初申し上げた、やっぱり10分の9、1万3,500円という、そういうカテゴリーに入ってきますので、そういう方が出てきた場合、市として応援してあげたいということで、制度は運用していこうと思っています。以上です。

○分科会長（福田 嗣久） 村岡委員、よろしいか。
はい、どうぞ。

○委員（村岡 峰男） 中身は分かったんですが、この申請は、事業主じゃなくて、雇用されている側が申請をする場合に、事業主との関係はどうなるのかということが一つと、それから、申請するのは、市の窓口ではなくて、ハローワークですか、あるいは、全国的な同じ、今のはやりでコールセンターとか何とかいいうところが申請先になるのかな。その辺、分かりますか。

○分科会長（福田 嗣久） 環境経済部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 私ども想定してますのは、基本的には事業主さんがハローワークに申請をされる場合、この市の支援を適用しようというふうに思っています。必ずハローワークに出されますので、そのときに、おたくさん、10分の9ですねということに入った方は、その書類を市のほうに持ってきていただいたら、補填をさせていただくと、こういう流れになります。従業員さんから直接というのはまた別の制度で動いていますので、ここについては、この支援策では想定をしておりません。以上です。

○分科会長（福田 嗣久） 村岡委員、はい、どうぞ。

○委員（村岡 峰男） 今の点は、じゃあ、労働者が申請をする場合は別の制度となるんで、というのは、それであっても、ハローワークのことなので、今の国が10分の10から10分の9下げる云々で、市が補填だけでも、これは事実上は、もう今回、国が緊急雇用の下で下げらへんいったら、もう市として

は、したけども、実際はないということかなというのがまず1点。

それから、もう一つは、住宅改修のほうは、もう1個後のほうで聞いたほうがいいのかと思いますので、そっちで聞きます。

○分科会長（福田 嗣久） 村岡委員、よろしいか。

○委員（村岡 峰男） はい。

○分科会長（福田 嗣久） ほか、ございませんか。
はい、どうぞ。

○委員（椿野 仁司） 今の緊急雇用の助成金なんですけど、今の飲食店に休業補償というか、休業の関係の緊急の該当するところ以外のところで、豊岡市的にいうと、金額の規模を今4,000万円と見とるんですけども、現状としては、どういう把握をしていますか、今の数だとか、規模だとか。当然売上げのベースが30%以下だったかな、前々対比だよ、前々年対比だよ。把握はできたの、およそ今までの実績、大体、その辺を見込んでということぐらいしか言いようがないのかな。

○分科会長（福田 嗣久） 環境経済部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） 昨年度、同じような制度を設けたときに、一体どれぐらい出てくるのか分からないということがあって、事業所の数からおおよそこれぐらい申請されるというふうなことを前提に3億円という予算を組ませていただいて、その後、実際出てきたのが6,000万円ぐらいでしたすかね。ということがあったんで、減額補正させていただいたというふうな経過がありましたので、今回は、前回の申請状況を参考にして、大体これぐらい出るかなということで予算組みをさせていただいておるのが実態です。

○委員（椿野 仁司） 分かりました。

○分科会長（福田 嗣久） よろしいか。

○委員（椿野 仁司） いいですよ。

○分科会長（福田 嗣久） ほか、ございませんか。
それでは、質疑を打ち切ります。

討論はございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） お諮りいたします。本件

は、原案のとおり承認すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） ご異議なしと認めます。

よって、報告第4号、専決第11号は、承認すべきものと決定をいたしました。

続いて、報告第4号、専決処分したものの承認を求めることについて、専決第12号、令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

当局の説明は、所管事項に係る部分について、歳出、歳入の順に説明をお願いします。

それでは、当局の説明をよろしく。

環境経済部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） それでは、議案書の117ページをご覧ください。

まず、歳出です。商工費の商工振興事業費、Reform豊岡に係る追加補正1億2,000万円でございます。これにつきましては、4月28日に申請の締めをしましたところ、最終的な受付が3億1,800万円を超えるというふうな状況になりましたので、3億2,000万円の予算を確保するため、28日、同日付で追加の1億2,000万円を専決する補正をお願いしたものです。

115ページに戻っていただきまして、歳入、財源につきましては、全て財政調整基金からの繰入金を入れていただいております。

説明は以上です。

○分科会長（福田 嗣久） 説明は終わりました。

質疑を受けます。どうですか。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） いわゆる住宅リフォーム事業で、当局の側も申請が多くて、正直びっくりするぐらいの申請が入っていると思うんですが、まず、要因として、何でこんなに言ったら失礼なんだけれども、申請が多いのかなと。いろいろ要因はあると思うんですが、聞きたいな。何でこんなこと言うかといったら、もう3年、4年前から、私も本会議でもこの事業をずっと要求をしてきて、需要がないと、建築

業界に聞いたけども、そんな需要はあらへんというのがずっと答弁だったんですね。ところが、今回、すごい申請。ずっと住宅リフォーム事業というのは、今回に限らず、ずっと要求、需要はやっぱりあった。今回出てきたから、がって集中したという思いがしてます。申請がすごいんですが、なぜかという問題と、もう一つは、業者が申請をされてると思うんですが、最終工期は、たしか1月末だったのかな。その辺を見ながらされると思うんですが、事業によっては、これだけまだ補助金申請が出てきて、業者にも集中しちゃうとなると、1月末大丈夫かなと、逆に思いもするんですが、その辺の判断はどうですか。

○分科会長（福田 嗣久） 環境経済部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） まず、これまで需要がないからと言ってきたというのは、ちょっと私、承知しておりませんが、ないことはなかったと思います。当然そういうものがあれば利用したいなという思いはあられたと思いますし、現実、建築住宅が持っております耐震リフォームですとか、それから、福祉部門が持っているバリアフリー、ああいうものは申請もございましたので、需要としては多分潜在的にはあったというふうに思っております。ただ、この政策を打つとなると、やはり市の財源というのかなり必要になってくるということがあって、これまで取り組んでこなかったということだろうと思います。今回は、とにかくコロナ危機で市内需要が失われているものをどう行政と市民の皆様とで需要喚起できるかというテーマの下に考えたときに、やってみようということで、やりました。3分の1、30万円という金額もかなり魅力的に映ったのではないかなというふうに捉えておりまして、想定以上の申請をいただいたというのが現状です。これも、一体どうするのかという議論はしましたけれども、これだけの需要が起きつつあるときにブレーキをかけるよりも、やはりここで市内の特に小規模設備事業者さんあたりに仕事が行くということを想定して、できる限り受け付けようというふうに判断をしたところです。現実には、申請を見ておりますと、

200万円以下の工事が86%、全体の、占めておりますので、我々が想定した、要は小規模な事業者さんへの支援ということにつながったんだろうと思っておりますので、結果としては、予算のほうはかなり無理をお願いしましたけれども、よかったのかなというふうに思っているところです。

もう一つは、工期の問題は、確かにちょっと不安を抱える部分もあります。エントリー申請のときにも業者さんと相談しながら、要は事業主さん出してくられてますから、ある程度事業者も受けれる範囲でお応えされてるというふうに思ってますのと、先ほど言いました小規模事業が、小規模工事がかなり多いので、それほど期間がかかるものではないものを数をたくさん抱えているということです、何とか1月31日工期に向けて頑張っていたきたいということで、今はお願いをしているところです。以上です。

○委員（村岡 峰男）　じゃあ、もう一つだけ。

○分科会長（福田 嗣久）　村岡委員、どうぞ。

○委員（村岡 峰男）　200万円以下が86%という、このことも非常にいい制度というんか、市民にとって喜んでおるなというふうに思うんですが、ただ、今言われた工期の問題ね。200万円ぐらいだから、工事そのものは大きいことない。ただ、ちょっと仄聞するところでは、一人の、あるいは何人かの業者が、一業者が1件、2件でなくて、場合によっては6件、7件の申請をされると。その中で、やっぱり数が多くなると、たとえ200万円以下といっても結構時間かかるんで、1月末というのは、あんまり厳しくせずに見守ってほしいなという思いはしてます。以上です。

○分科会長（福田 嗣久）　坂本部長。

○環境経済部長（坂本 成彦）　実は、財源として臨時交付金を一部充てております。臨時交付金の繰越しで充てているような状況ですので、年度内にどうしてもしないといけないということがあって、工事は1月末に終えていただいて、その後、手続をやっ、支払いも終えてということになると、年度内、そこが限度かなということで今見ておりますけれ

ども、一般財源を充てている部分もありますので、その辺りも含めて、今後様子を見ながら検討させていただきたいと思います。

○委員（村岡 峰男）　結構です。

○分科会長（福田 嗣久）　よろしいか。

○委員（村岡 峰男）　はい。

○分科会長（福田 嗣久）　ほかの委員の皆さん、よろしいか。

一つ、私から。今、一事業者がどれくらいが最大ですか。今のリフォームというか、10件ぐらい持つとんなるか。

はい、どうぞ。

○環境経済部長（坂本 成彦）　今実は本申請を受けているさなかでして、1,259件あるうちの今103件、昨日までで本申請は受けたところということで、実際、どの事業者さんが関わられているか、まだ詳細は把握できてない状況です。感触的には、今10件とおっしゃいましたけど、それ以上も受けておられるところもあるんじゃないかというふうには見えています。

○分科会長（福田 嗣久）　よろしいですか。

はい、どうぞ。

○委員（椿野 仁司）　さっき村岡さんが、以前はこうだったんだけど、今回、Re豊岡になって、コロナ危機ということで、こういう形はとてもいいことで、いいんだけど、なぜでしょうかというあれが、ちょっと私も引っかかるころがあって、その辺は、何かどうしてこういう時期にこういうふうに思い切ってしまうと思われたのか。それは、3分の1助成、30万円というのがかなり魅力的だったことは事実だと思うんだけど、多分、それ以上の工事をしておられるところもあると私は思うんですよね。ぎりぎりじゃなくて、限度額で。とすると、じゃあ、それは、どういうことに理由があったのかなというようなことが何か方法で分かれば、どういうふうにして、こういうRe豊岡を申し込まれましたんですかというふうなところら辺が分かればええな。想像するのに、これは余談ですが、どこも行けない、お金が使えない、お困りの方はいっぱいあると思う

んだけど、お困りじゃない方は、ふだんの生活からいくと、どこも行けてない、どこにも出れない、お金が余るという言い方はちょっと失礼な言い方だけど、この際、そういうリフォームに、長年、使いたかったんで、いいチャンスだというふうなのも理由の一つであるのではないかなと。これはあくまで想像です。何かコメントがあれば、部長、どうぞ。

○分科会長（福田 嗣久） 環境経済部長、どうぞ。

○環境経済部長（坂本 成彦） 想像とおっしゃいましたが、私も想像、一部そのようにしております。やっぱり貯蓄率がかなり増えてきているという経済分析のほうもありますので、そういったものをむしろ市場に引っ張り出せたとしたら、それはそれで効果があったのかなというふうに思っています。

それと、先ほどの理由みたいなことをちょっと利用いただいた方にもし聞けるようでしたら、聞けていくと分析が進むのかなと思ったりしてますので、アドバイスとして頂戴したいと思います。

○委員（椿野 仁司） よろしく、どうぞ。

○分科会長（福田 嗣久） よろしいですか。

○委員（椿野 仁司） はい、いいです。

○分科会長（福田 嗣久） ほかの委員の皆様、よろしいですか。

○委員（村岡 峰男） もう1個だけ、ちょっと聞き忘れた。

○分科会長（福田 嗣久） はい、どうぞ。

○委員（村岡 峰男） 申し訳ない。市の予算として3億1,200万円ですね。これで、1件200万円以下が総額なんですけど、実際の全体の事業費というのはどのぐらいの効果なのかな。

○分科会長（福田 嗣久） 坂本環境経済部長。

○環境経済部長（坂本 成彦） おっしゃっていただいたように、補助金がベースで3億2,000万円弱ということで、工事費全体ですと、17億7,000万円。

○委員（村岡 峰男） 17億。

○環境経済部長（坂本 成彦） 17億7,000万円です。実は、経済波及効果というの、今回、産業連関表を使って計算してみまして、他の産業への

需要創出というものが3億5,000万円程度ありそうだというふうに計算しておりますので、合わせると21億2,000万円という経済が動くことになるのかなというふうに試算をしているところです。

○委員（村岡 峰男） 波及効果3億5,000万円。

○環境経済部長（坂本 成彦） はい。他産業への影響ということですね。

○委員（村岡 峰男） 大きいね。はい、分かりました。

○環境経済部長（坂本 成彦） 以上です。

○分科会長（福田 嗣久） 村岡委員、よろしいか。

○委員（村岡 峰男） はい。

○分科会長（福田 嗣久） ほか、よろしいですか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） それじゃあ、質疑を打ち切ります。

討論はございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） お諮りいたします。本件は、原案のとおり承認すべきものと決定して、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） ご異議なしと認めます。よって、報告第4号、専決第12号は、承認すべきものと決定をいたしました。

以上で当分科会に分担されました議案の審査は終了いたしました。

この際、当局の皆さん、発言がございませんね。それでは、特にないようでしたら、当局の皆様は退席していただいて結構でございます。ご苦労さまでございました。

それじゃあ、継続させていただきます。

本日審査いたしました報告第4号、専決処分したものの承認を求めることについて、専決第9号、令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第28号）、専決第10号、令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第3号）、専決第11号、令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第4号）、専決第12号、令和3年

度豊岡市一般会計補正予算（第5号）について、分科会審査における意見、要望についてご発言があれば、ぜひお願いをいたします。どうですか。別によろしいですか。よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） それじゃあ、もう意見を付すことはいたしません。

ですから、意見はなしということで進行させていただきたいと思います。

その他、委員の皆さんから発言はございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（福田 嗣久） それでは、以上をもちまして、建設経済分科会を閉会をさせていただきます。大変ご苦勞さまでございました。

午前10時44分閉会
